

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

11月22日 (火)

藤重先生が公開授業を行いました。ミニサッカーでした。休み時間に準備体操を終えて、鬼ごっこを始めていました。2人の鬼が赤色の帽子で、逃げている方は白色で、捕まったら赤に換え鬼になります。5分くらいグラウンドを走りっぱなしでした。この時間の藤重先生の授業のねらいは、「汗をかくほど動こう」「コミュニケーションをとろう」でした。鬼ごっこが終わって、授業は、ミニサッカーです。子ども達が作戦を練って練習をしていました。「声を掛け合う」「ロングボールを出す」などでした。声を掛け合うことが成立しないと作戦はまったく無駄になってしまいます。多くのチームでは、子どもたちが作戦を遂行すべく、一所懸命声を出したり、手をあげたりして、走っていました。

11月23日 (水)

当校に福東國小の5年、6年生を迎え、交流会を行いました。私が最初のあいさつでした。日本人学校の子どもには私の中国語が通じないと悪いので、日本語でこんなことをいうよ、と前もって言うておきました。「大家好。今日は、福東のみなさんが日本人学校に来てくれて大変うれしい。3月11日に、日本では大地震がありました。日本人は大変悲しい想いをしました。台湾人は、励ましてくれました。日本は大変台湾に感謝しています。これからも日本と台湾がさらに仲良くなることを願っています。謝謝大家」これを中国語で言いました。(実際は、メモをみながらです)顔を時々あげながら話したので、台湾の子どもが真剣に私の話を聞いてくれていたのがわかります。

私たちは、太鼓の披露、福東は客家の踊りの披露でした。そのあと、グループに分かれて、10色を表す日本語を教え、その単語をつかってフルーツ(カラー)バスケットをしていました。みんなの輪の中に入れてもらいました。みんなの工夫がうまく出ていて、子どもたちだけでなく、福東の校長先生も楽しんでいました。

太鼓を日本人学校の子どもたちが教えました。最初、「中国語ができないから教えられない」と言っていた子ども達もみぶり手振りでやっていました。福東の子どもも一所懸命やっていました。

最後閉会式でも、あいさつにでた福東の子どもが、あいさつの中で、友達の名前は、「力介」と最初に発声しました。

終わってから、中島先生と原田先生は、「発表だけでなく、教えあったりする交流会で仲が深まったようですね、町で会ってもあいさつしますね」と、話をしていました。

1月24日 (木)

小学部2年生と美麗島の郵便局に行ってきました。学校を出て、文化中心駅まで歩き、地下鉄に乗り、美麗島駅で降りました。切符を一人一人買っての乗車です。聞いたらはじめて自動販売機で買うという子もいました。(私がいた新潟は車がないと動きにくい地域で、車での移動が多く、中学生でも電車の切符を買ったことがないという生徒も確かにいたな、と思い出しました) 郵便局の中で、いろいろ説明を受けました。ポストの色の違い。(赤と緑がありますが、区別はつくでしょうか) 郵便物の仕分けの仕方やどのように配達しているかを観察しました。台湾では、個人で切手を作ることができるのですね。帰りの切符はみんな余裕で買っていました。私も5人の子どもたちを中心に安全確認をしていました。

1月25日 (金)

内科検診がありました。終わってから陳田柏先生とお話をしました。「子ども達は健康ですね。」から始まって、「私が子どもころは、スコールがあったのに最近ほとんどないですね。」「健康には歩くのがいいですよ」「百瀬校長先生ころから検診にきています」(20年くらいまえだと思います)とか様々な話をしました。その中で、学校として謝礼を渡すことになっています。毎回ですが、「本を買ってください」とそっくり謝金を寄付してくれます。ありがたくいただきました。

朝、凱旋路に面する学校の敷地を見ていました。生け垣に咲いている白い花から強い香りが出ています。新潟県人としては、今頃は、強烈な横殴りの風、そして雨か雪。さらに、半月以上前には木々から葉っぱがすべて落ちてしまって、見える範囲の緑は松だけという風景です。これから3ヶ月じっと「がまん」という季節に入ります。李用務員に、「今は冬ですか?」と聞いたら、「冬です。ちょっと暑いですけど。」という答えでした。

この風を読んでくださっている方から、「校長先生、最近、娘さんや息子さんの話がないうですよ」と声をかけられました。子どもがどのように育ち、大学に行き、就職し、と、それぞれのご家庭で、そんなこともあるのか、と勝手に思えばと思って、話したり書いたりしています。ということで、久々に仙台にいる大学3年の娘。リハビリ(理学療法)専門で大学3年です。病院での実習が2回目で、今回は2ヶ月近くあるようです。大変みたいですが、張り切っている様子がメールから伝わります。私が、腰が痛くて、漢方医に行っている。それも、針、灸までしていると伝えたら、「お灸したのすごいね」と顔マークが入っていました。「海外飛び回るお父様うひょうー」という感じです。春休みにうまく休みが取れば、台湾に友達と遊びにくるとメールがあったので、父親としては漢方医の見学をすすめようと思っています。なにせ、脈診で「腰の○番が痛いでしょう」とあててしまう。腰痛とのつきあいも30年。今までにない経験をしています。